

# 第5次金山町総合発展計画 体系図

【めざす町の将来像】 「みんなが主役、みんなの故郷、金山町」～住んでよし、訪ねてよしのまちの実現～

【施策の柱】 (基本目標)	【中期ビジョン】 (重点プロジェクト)	【横断的な目標】	【第2期金山町まち・ひと・しごと創生総合戦略】 (個別計画)	【KPI】 (重要業績評価指数) 【R7数値目標】	【関係計画】
<p>〈基本目標①〉 魅力と活力の向上、安心して働くことができるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業振興</li> <li>・雇用安定</li> <li>・人材育成</li> </ul>	<p>1. 地産振興・雇用安定プロジェクト</p> <p>〈戦略目標①〉 わが町に安定した雇用を創出する</p>	<p>多様な人材の活躍を推進する</p> <p>新しい時代の流れを力にする</p>	<p>(1)農業と農村の再生による雇用機会の創出・拡大</p> <p>(2)環境に配慮した持続可能な森林・林業の維持と、活用による雇用創出</p> <p>(3)働きやすい環境づくりと商工業振興による雇用創出</p> <p>(4)交流の推進による関連産業の振興</p> <p>(5)各分野における人材の育成と確保</p>	<p>年間新規雇用者数</p> <p>30人</p>	<p>国土強靱化計画</p> <p>・各分野別計画</p>
<p>〈基本目標②〉 新しいつながりと定着、住んで良かったと思えるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住定住・関係人口</li> <li>・景観保全</li> </ul>	<p>2. 移住・定住推進プロジェクト</p> <p>〈戦略目標②〉 わが町へ新しい人の流れとつながりをつくる</p>		<p>(1)多様な住まいの提供による定住促進</p> <p>(2)連携による関係人口の創出と交流人口の拡大、移住定住促進</p> <p>①地域と連携した移住・定住の促進</p> <p>②地域への愛着を持つ金山人の育成</p>	<p>社会増減数(転入-転出)</p> <p>△38人</p>	
<p>〈基本目標③〉 若い世代の結婚・出産・子育ての希望がかなう、誰もが生きがいをもてるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化対策</li> <li>・男女共同参画</li> <li>・教育文化</li> </ul>	<p>3. 結婚・出産・子育てプロジェクト</p> <p>〈戦略目標③〉 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</p>		<p>(1)子育て支援・経済的支援の拡充</p> <p>(2)結婚・子育てをサポートする人・場・仕組みづくり</p> <p>①子育ての負担軽減と子育てしやすい環境(遊び場含む)づくり、地域全体で子育てをサポートすることを目指し、子育てを支える地域の人づくりを推進する。</p> <p>②子育て世代を応援するため、親子の育ちと保護者の子育て環境の整備を図る。</p> <p>③充実した教育環境の整備を図り、わが町で学び成長する喜び、充実感を親子ともどもに持てる環境を整える。</p> <p>④男女を問わず子育てと仕事を両立できる環境を整備するため、ワークライフバランスの実現に向けて事業所による働き方の見直しを推進する。</p> <p>⑤町役場、企業、個人の連携及び県と市町村の広域連携により、出会い・結婚につながる応援活動を展開する。また、結婚時の住居問題を解決するため、未活用住宅の利用促進を図る。</p>	<p>合計特殊出生率</p> <p>1.67人</p>	
<p>〈基本目標④〉 ひとが集う、持続可能なまち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災減災</li> <li>・安心安全</li> <li>・地域連携</li> <li>・健康長寿</li> <li>・景観保全</li> <li>・国土強靱化</li> </ul>	<p>4. 地域連携・生涯活躍プロジェクト</p> <p>〈戦略目標④〉 住民の絆を高め安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する</p>		<p>(1)これからも住み続けたいと思う魅力ある地域づくり</p> <p>①人口減少による地域の自治機能衰退を補うため、今まで以上に住民主体の地域づくりを推進する。一人一人が、魅力づくりの担い手となる地方創生の実現をめざす。</p> <p>②これからの地域を担う世代を育成し、同時に高齢者の活躍(シルバーワーの実現)の場として、地域と学校の連携を推進する。</p> <p>(2)持続可能な地域のための広域的な経済圏・生活圏の形成</p> <p>①生活上の不便さを理由とする人口流出を防ぐため、日常生活に必要な機能やサービスを維持確保できる市町村間の連携を加速させる。</p> <p>②地区・地域間の交通ネットワークを充実させる。</p> <p>(3)安心・安全な生活環境の確保</p> <p>①快適な生活環境のための雪処置対策を拡充する。</p> <p>②暮らしやすいまちづくりのため、社会資本機能の維持向上及び空き家対策を強化するとともに、各団体と連携した防犯活動により、安全な地域づくりを推進する。</p> <p>③地球温暖化等の影響による異常気象などの自然災害対策にあっては、地域防災計画に準拠した町の対策とともに、住民が地域防災力の担い手となるための環境を確保し、自主防災体制を強化することにより、きめ細やかな防災減災対策を図る。</p> <p>④進行する高齢化の中にあればこそ、健康で長生きできるような(「健康寿命」を延ばす)施策を展開する。また、介護を必要とする高齢世帯については、介護する側へのサポート体制の強化を図るとともに、障がい者支援の充実を図る。</p> <p>(4)歩きたくなる空間創出と地域消費の連携</p> <p>(5)スポーツ・健康まちづくりの推進</p>	<p>これからも住み続けたいと感じる住民の割合</p> <p>80%</p>	
<p>〈基本目標⑤〉 誰もが活躍できる地域社会／生涯活躍のまち(CCRC構想)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康福祉</li> <li>・コミュニティ</li> </ul>	<p>支える基盤</p> <p>時代の変化に的確に対応する行財政運営</p>		<p>財政の健全化</p> <p>行政の健全化</p>	<p>財政運営基金残高</p> <p>10億円</p>	
<p>〈基本目標⑥〉 健全で持続可能な行財政運営</p>					